



だんだんと秋の虫の声が聞こえ始める秋。9月にはお月見もあるし、お芋や、果物、おいしい食べ物が摂れる時期ですね。食卓にもぜひ季節の食べ物を1品並べてお子様との会話を膨らませてみてくださいね。食育にもつながりますよ！

「秋」とはいえ、まだまだ暑く寝苦しい日々が続いています。夜寝る前は水分補給をしたり、室温の調整をして熱中症予防はしていきましょう。



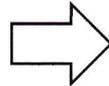
8月に多かった病気  
気管支炎・下痢症

さて今回は新型コロナウイルスが流行してから、感染流行があまり見られなかったその他の感染症についてのお話をしたいと思います。

新型コロナウイルスが感染拡大をしてから3年以上が経ちますが、その間他の感染症が流行しませんでした。ですが昨年冬から春にかけてインフルエンザが流行し、その他には春先にRSウイルス・ヘルパンギーナなども流行しました。当病児保育室でも、インフルエンザに感染して利用する子どもが長期間いました。また、RSウイルスなどの咳症状がひどいお子様も多く見られました。以前のお便り(ピオーネだより no.13)では発熱時のホームケアを掲載しました。では咳でしんどい時にはどんなことをしてあげると楽になるのでしょうか？

まずどんな様子かしっかり見ましょう

◎咳は出ているが発熱もなく食欲も元気もある



翌日の診療時間内に受診

◎咳や喘鳴※はあるが眠れそう・または眠れている

※喘鳴・呼吸をする時にヒューヒュー・ゼエゼエなどと音がすること

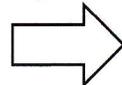
◎ずっと咳き込んでいてとまらない

◎ゼエゼエする直前に豆類を食べていたり口に物を加えていた(異物を飲み込んだ可能性がある)

◎呼吸が明らかに早い

◎顔色や唇の色が少し悪い

◎横になって眠れない

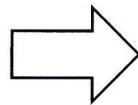


小児救急対応病院を受診

◎顔色が悪く、唇の色が紫色

◎呼吸が苦しくて喋れない

◎呼吸が苦しくて動けない



119番通報 救急車を呼ぶ

◎どんな咳・呼吸をしていますか？

- コンコンと乾いた咳
- ケンケンという狐の鳴き声のような咳
- ヒューヒューと呼吸をすると音がする 等

医師に診察時に伝えられるようにしておきましょう。

よく当病児保育室利用の方で、どんな咳だったか上手く伝えられない、という声を聞きます。

できる方はスマートフォンなどで動画撮影をしているとお子様のしんどかった時間の咳の様子が伝えやすいですよ。ぜひ便利なものを活用してみてくださいね！

※乳児は哺乳ができているかが大きな目安になります。

